

中日本自動車短期大学

評価短期大学の概要

設置者 学校法人 神野学園
理事長 神野 哲州
学 長 脇 俊隆
A L O 土田 茂雄
開設年月日 昭和 42 年 4 月 1 日
所在地 岐阜県加茂郡坂祝町深萱 1301

設置学科および入学定員

学科	専攻	入学定員
自動車工業		600
	合 計	600

専攻科および入学定員

専攻	入学定員
自動車工学	20
車体整備	40
	合 計 60

機関別評価結果

1. 機関別評価結果

中日本自動車短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成 18 年 3 月 23 日付で適格と認める。

2. 機関別評価結果の事由

中日本自動車短期大学の設置母体である学校法人神野学園は、岐阜医療技術短期大学、中日本航空専門学校、東海福祉総合専門学校等を擁する学校法人である。当該短期大学は、昭和 40 年に創設された江南自動車高等整備学校を前身とし、昭和 42 年に自動車工業科単科の工業系短期大学として設立された。現在は、自動車工業科、専攻科自動車工学専攻、専攻科車体整備専攻の 1 学科 2 専攻科を設置している。

当該短期大学は、建学の精神を「技術者たる前に人間であれ」とし、教育理念を「社会規範を遵守できる人間教育、自動車産業界に広く活躍できる高度な技術者教育及び車社会における車両の安全運行・保金を維持発展させる整備技術者教育を系統的に行う」と定め、国土交通省の法令基準に準拠する自動車整備士、自動車車体整備士の養成を目的としている。

平成 17 年 1 月 20 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

建学の精神・教育理念は確立している。更に教育目的・目標も明確で、構成員にほぼ共有されているとともに、それらの達成にはかなりの努力が払われ、効果を上げている。専門分野への就職の割合は極めて高く、平成 17 年度からは企業を対象とするアンケート調査をする等改善の努力が払われ始めている。

学生支援については、入学に関する支援は近年充実が図られており、学習支援についても組織的かつ精力的に行われている。留学生に対する支援、学生生活支援及び進路支援体制も整備され、実績も上がっている。

社会的活動は、組織として、また学生個人としても概ね活発に行われており、複数の国との相互派遣型の国際交流もかなり活発に行われている。

自己点検・評価活動の体制は、整備されており、年次報告書も毎年発行されている。改革・改善や相互評価への取り組みに対する意欲も概ね期待できる。

3. 優れている点及び向上・充実のための課題

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 教育の内容

- ・ 習熟度別によるクラス形態をとり、きめ細かく指導していることは好ましい努力と認められる。

評価領域 教育の実施体制

- ・ 自動車整備に関連した教育実習施設が充実している。

評価領域 学生支援

- ・ 入学時の学力確認テストやコンピュータによる学生の出席管理を行っている。

評価領域 社会的活動

- ・ 複数の海外教育機関と相互派遣型交流を行っている。

評価領域 改革・改善

- ・ 平成 12 年度に外部評価を実施している。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 教育の内容

- ・ シラバスの中に一部記述内容の不十分なものが認められる。
- ・ コンピュータリテラシー教育のさらなる充実を計ることが望ましい。

評価領域 教育の実施体制

- ・ 図書館利用促進のための組織的な取り組みをされたい。

評価領域 学生支援

- ・ 数学力向上のみではなく、文章表現・読解力向上についても配慮することを検討されたい。

評価領域 管理運営

- ・ 理事会等における審議事項のうち、関連法人に関することは報告事項とすることが望ま

しい。

評価領域 財務

- ・ 教育研究経費について、より一層の充実が求められる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし